

<タイプ1>  
 ・レポートのテーマは、安岡正篤にする。  
 ・心に残った「自分を最大化する教育者は誰か」  
 ・「イエスマン」「マインドコントロール」などの言葉を聞くことが多くなったのは、自己を持っていない人が多いからだと思った。  
 ・「鍛錬」という言葉が好きになった。この言葉を胸に刻み生活していきたい。  
 ・「人生計画表」のような自身を管理できる能力が羨ましいと感じた。  
 ・下の人の気持ちになることも大切だと知った。

<タイプ2>  
 ・偉人の母親は偉大。早咲きより、ゆっくり熟成させていくことが重要。自分をつきつめると「完全な自己」になる。  
 ・安岡正篤の「自分はつきとめた所、何になるか」といえば、自分は自分になる「完全な自己」になるということだに感動した。  
 ・新撰組の斎藤一を書いていこうと思っている。  
 ・様々な人物の歴史を知れて楽しい。  
 ・朝倉文夫の「一日一点の像作成」が凄いなと思った。自分も本を読みます。  
 ・高卒だったり大学も中退という人がいますが、そういう人達はどのようにして成長しいつ認められるような人物になりましたか。その人達に何か特別な共通点はありますか？  
 ・安岡正篤の言葉から、自分が辛い時に助けられる友人を大切にしたいと改めて感じた。  
 ・自分は自分になるという安岡さんの言葉を聞いて確かにそうだと感じた。自分の人生がどうなるかも自分次第。  
 ・朝倉文夫の彫刻を見てみたい。沖田総司について調べてみたい。  
 ・平成にそんな意味が込められていると知った。  
 ・自分のロールモデルを見つけることを、真面目に取り組むと難しい。  
 ・努力家の人と天才気質の人では、努力した人の方が成功する可能性が高いと聞き、井戸の話でもあるように、折れそうでも、もう少し頑張ろうと思った。

<タイプ3>  
 ・新渡戸稲造の「武士道」が日本を救ったという話があり驚いた。  
 ・部下は上司を3日で分かるというのは、とても面白いと思った。  
 ・双葉山が朝倉文夫の弟子ということにビックリした。  
 ・野口の話であったように父ではなく母が良いと子が良くなるとあったので、子供にとって母は大きな存在なんだと思った。  
 ・「私はこの世界に何かをなさんがために生まれてきたのだ」と言う言葉は凄いなと思った。

<タイプ4>  
 ・内的世界を広げていくことが大切だと感じた。  
 ・「人生は心がけと努力である」という言葉に驚いた。  
 ・次の年号が何になるのか気になる。

<タイプ5>  
 ・「鍛錬」や「平成」の漢字の意味を知った。  
 ・「自分で自分を育てよ」  
 ・日本は神道を元に儒教、仏教の混合である立派な宗教のある国だと思った。今まで日本人は主要な宗教のない国だと思っていたので驚いた。  
 ・双葉山の69連勝は知らなかった。目が見えない状態で相撲をとったのは驚きだった。  
 ・もう少し近年の人物についても取り上げて頂きたい。秋元康をモデルにしたい。  
 ・唐木田にある彫刻がすごいと覚えていた。  
 ・縁を大切に、就活に臨みたい。  
 ・本日の講義で大学で何を学ぶのかという事の方向性が分かった。

・向上心を持つことは大切だと思う。  
 ・印象に残ったのは野口英世。母がすばらしい。  
 ・平成「地平らかにして天なる内平らかにして外なる」からとって成る程と思った。  
 ・自分を磨くことは自分しかできない言葉に共感した。偉人たちはちょっとした空き時間も無駄にせず有効活用している。私も一分一秒たりとも無駄にせず、時間を大切にしていきたい。

<タイプ6>  
 ・野口英世を選ぼうと思う。  
 ・「自分で自分を育てよ」というのも、自分しか出来ないことだなぁと思った。何をやるにも自分次第。  
 ・日本人には努力が好き人が多い。モデルは織田信長。  
 ・今回は深い話が多かった。  
 ・様々な人物を見ることができ、自分の人物像の応用になった。  
 ・野口英世の学力がほぼ独学なのはびっくりした。先生が偉人の母が凄いなと思った時に確かにとおもった。  
 ・何かを成し遂げている人は生まれてから死ぬまでずっと努力し続けてだらけている時間なんか無く生活しているのだろうと思った。レポートは女性にしようと思う。  
 ・平成の意味を知らなかったけど、平成最後の年に知れて良かった(地平天成)。女性について書きたい。与謝野晶子が気になる。  
 ・作曲家の中から書く人を決めようと思う。  
 ・難しい話ばかりで理解するのが大変。少しでも理解ができると、この講義を受ける価値があると思う。  
 ・サトウハチロー「母という字を書いてごらん。やさしいように見えて難しい字です。格好の取れない字です。やせすぎたり、太すぎたり、ゆがんだり、泣きくづれたり、、、笑ってしまったり」母という字に対して深く考えた。自分にとっての母が表れるように感じた。  
 ・野口英世について書こうと思う。  
 ・二宮尊徳についてキュウリを植えればキュウリと別のものが収穫できると思うなということとはとても心に響いた。  
 ・人間そのものを何とかしなければ絶対に人間は救われない。この言葉が心に響いた。  
 ・野口英世の「私はこの世界に仕事力をなさんがために生まれてきたのだ」が気に入った。  
 ・健康を損ねてまで努力する。一日ぐらいいは何もしない日があってもいいと思う。  
 ・野口英世さんの「医学の進歩に貢献することにより世界の多くの人命を救う」が良かった。

<タイプ7>

- ・安岡正篤は良い物（人）と付き合えば良い方向に行く。悪い物（人）と付き合えば悪い方向に行く。私の母も同じことを言っていた。
- ・偉人達の名言は心に響いた。
- ・レポートのモデルは授業に出てきた人限定ですか？
- ・「人生は心がけと努力次第」という言葉が心に響いた。
- ・新渡戸稲造の「井戸を掘りて今一尺で出る水を掘らずに出ぬといふ人ぞ憂き」という言葉に感動した。

<タイプ8>

- ・ジョン・フォン・ノイマンについて調べます。
- ・安岡正篤の「自分をつきつめた所に何になるかといえば、自分は自分になる「完全な自己」になる」という言葉が印象に残った。

<タイプ9>

- ・自分のことを律して先を考え過ぎず行動することが大切だと学んだ。
- ・比較的若い人（21世紀以降）について特集をしてほしい。
- ・「上、下を見るに3年、下、上を見るに3日」この言葉は、将来自分が管理職についた時にとっても活用できる言葉だと感じた。新渡戸稲造はとても感慨深い人だと思った。この人の記念館には行ってみたい。「武士道」を読んでみようと思った。
- ・特に「他人を変えるには、まず自分が変わらなければならない」という言葉が心に響いた。
- ・平成最後となるので自分も平成最後にチャレンジしてみたいこと全部してみたい。
- ・自分も野口英世みたいな人になりたい。
- ・福田恆存の人生は未知の世界への旅。教養とは何か打ち込んだ内に多くを見出すことができるという言葉に共感し、自分は人生に迷いがあつたが、少し光明を見出せた気がする。
- ・唐木田駅前にある女性のモニュメントは見たことがある。朝倉響子の作品とは驚いた。
- ・講義中に見た動画でもどれも難しい内容だったが勉強になった。
- ・母親が凄いと子供も凄くなるは、面白いと思った。

<タイプ?>

- ・賛成3割、反対7割がちょうどいいという考えが面白いと思った。
- ・野口英世の生涯について詳しくしりたくなった。
- ・これからもこの授業は楽しみにしている。
- ・私の財産告白のように計画を立て貯金して最終的には寄付したいと思った。
- ・人生は鍛錬。心に響く言葉だった。怠けそうなとき「人生は鍛錬」の言葉を心の中で言って日々、自分を昇華させたいと思う。
- ・安岡正篤の「人々の楽しみの後に自分は楽しむ」の言葉から、誰かが楽しんだ後に自分も楽しめば情報があつて楽しみやすくなると思った。
- ・二宮尊徳のゆかりの地である小田原から通っています。
- ・人間そのものを何とかしなければ絶対に人間は救われない。
- ・偉人は考え方が常人と違う人が多く、自分の考えを貫くことができる人材だと思った。
- ・他の有名な人物を調べてみようと思った。
- ・色々な人と話すと様々な考えがあり面白い。
- ・野口英世の人物は誰もが知っているが、「私は子の世界に何事かをなさんがために生まれてきた」というのは初めて聞いた。すごく印象深かった。

- ・「何かをやっていた事をまた後からやり直し、成功させる」この言葉は将来自分にとってきつと大切になるだろうと思う。
- ・人を見るときは、前より後ろから見るのが良い。前は作られるが後ろは誤魔化せないからだ。今後も偉人の名言に注目していきたいと思った。
- ・二宮尊徳さんの「自分の植えたものを収穫するのである」という言葉を見て、自分の行動を少し改めようと思った。今から未来のためにできることをしていこうと思う。
- ・久恒先生が描いた絵は面白い。
- ・偉大なる人の母親もまた偉大なのだと思った。英雄や神話的存在に興味がある。彼らは偉大になろうとしませんでした。見返りも求めませんでした。ただ使命感を持ってやるべき事やっていたように見えた。
- ・野口英世に凄く興味を持った。もっと調べてみたい。
- ・1つの井戸を掘れという言葉がとても心に響いた。二兎を追う者は一兎をも得ず、という言葉がありますが、身をもって感じた。
- ・野口英世の歴史に触れた。自分だったら、火傷などしたら立ち直れないと感じた。
- ・海外の偉人について調べてみます。